

教科名	数 学	科目名	数学Ⅱ（２年次）【３単位】	
授業形態	講義・演習形式			
選んでほしい生徒	「数学Ⅰ」を履修済みで、大学への進学を希望している人			
科目の目標	式と証明・複素数と方程式・図形と方程式・三角関数・指数関数と対数関数、微分法と積分法について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。			
身に付けてほしい学力	1 複素数を理解し、因数分解を利用して高次方程式が解けるようになる。 2 座標や式を用いて直線や円などの平面図形の考察ができるようになる。 3 三角・指数・対数関数を理解する。 4 微分・積分の考え方を理解し、グラフや面積に応用できるようになる。			
学習計画	単元・教材		学習のあらまし	
	【１学期】 第１章 式と証明 1 式と計算 2 等式・不等式の証明 第２章 複素数と方程式 1 複素数と２次方程式の解 2 高次方程式 第３章 図形と方程式 1 点と直線 【２学期】 2 円 3 軌跡と領域 第４章 三角関数 1 三角関数 2 加法定理 第５章 指数関数と対数関数 1 指数関数 2 対数関数 【３学期】 第６章 微分と積分 1 微分係数と導関数 2 関数の値の変化 3 積分法		・式の計算・証明、複素数とその計算、高次方程式の解法、直線・円の方程式、軌跡と領域などについて学習する。 ・三角関数・指数関数・対数関数などについて学習する。 ・導関数、関数の増減・グラフ、積分法、図形の面積などについて学習する。	
評価の観点・評価方法	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	知識・理解
	・いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおける考え方に興味を持つとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。	・いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	・いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおいて、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	・いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えにおける基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、基礎的な知識を身に付けている。
	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して評価を行う。			
学習のアドバイス	1 日々の授業を大切にし、課題はその日のうちに仕上げよう。 2 数学Ⅰの知識を前提とするので、必要があれば復習しよう。 3 考査前や長期休暇等の課題・提出物は期限を守り提出しよう。 4 定期考査の対策は、教科書の例題などを中心に、見るだけでなく実際に解いてみよう。			
教材費	教科書 750円 問題集 1,018円			
その他	特になし			